

## エネファーム余剰電力買取サービスの開始について

～九州初<sup>\*</sup>、おうちでつくった電気を日本ガスが買い取り、地域のお客さまへ提供します～

日本ガス株式会社（本社 鹿児島市中央町8番地2 代表取締役社長 津曲貞利）は、2019年4月より、九州初<sup>\*</sup>の取組みとなる『エネファーム余剰電力買取サービス』の提供を開始します。

これまで、「エネファーム typeS」が発電した電力は、設置されたお客さま宅内のみで利用しておりましたが、今回の余剰電力買取サービスでは、お客さま宅で利用しなかった電力（余剰電力）を当社が買い取ります。これにより、「エネファーム typeS」による従来の光熱費削減効果、CO2削減効果に加え、売電によってさらに経済性を高めることができます。また、当社が買い取った電気は、「日本ガスでんき」として地域のお客さまへご提供いたしますので、エネルギーの地産地消の推進に繋がります。なお、「エネファーム余剰電力買取サービス」は、2019年4月から当社にて申込み予約を受け付け、2019年5月以降、順次開始する予定です。

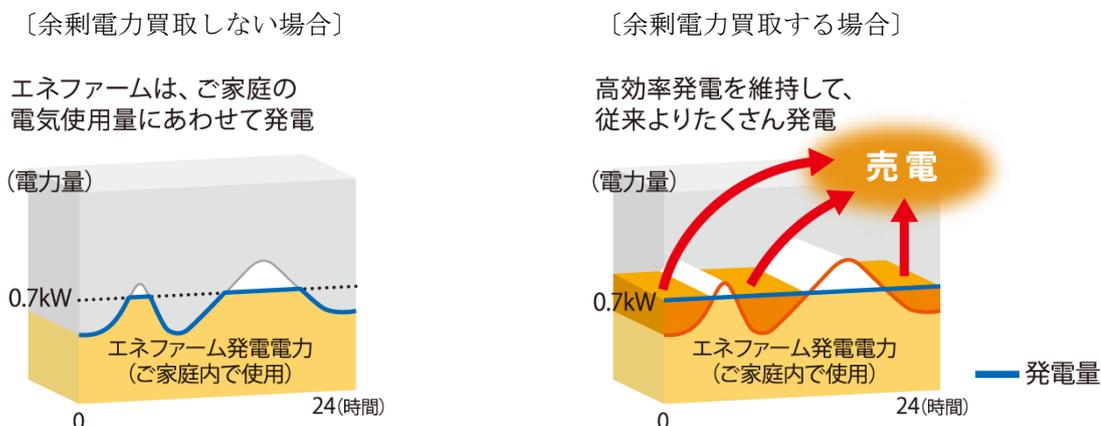
当社は、これらの活動を通してエネファームの普及拡大を推進し、お客さまの快適で豊かな暮らしを実現するサービスの提供や、環境に配慮した地域社会への貢献を目指して参ります。

<sup>\*</sup>2019年3月現在、日本ガス調べ

### 記

#### 1. エネファーム余剰電力買取サービスの概要

図1. 運転イメージ



# News release

図 2. 電力買取イメージ



※エネファーム typeS が設置されているお客さまで、当社との都市ガス契約を必須とします。

※太陽光発電設備を併設されている場合は買い取りできません。

※その他ご利用条件に関してはエネファーム余剰電力買取約款に詳細を定めており、サービス受付開始時にご案内します。

※お客さまの設備状況によっては買取できない場合もございます。

## 2. 「エネファーム typeS」と「エネファーム」の比較

	エネファーム typeS	エネファーム
作動温度	約 700℃～750℃ (高温で動作するため発電効率が高い)	約 60℃～80℃
電池の種類	固体酸化物形(SOFC)	固体高分子形(PEFC)
電解質	セラミックス	高分子膜
発電効率	46.9%(52%)※	35.2%(39%)※

※( )内の数値は、LHV(低位発熱量)基準

# News release

## 3. 「エネファーム typeS」の仕様(自立運転機能付き)

発売日	2018年4月1日	
外観	 <p>燃料電池発電ユニット FCCS07B2NJ (アイシン精機) + 補助熱源機</p>	
発電出力	50～700W	
効率	高位発熱量基準	総合効率 78.5% 定格発電効率 46.9%
	低位発熱量基準	総合効率 87% 定格発電効率 52%
貯湯タンク容量	28ℓ	
外形 寸法	燃料電池ユニット	高さ 1220mm×幅 780mm×奥行 330mm
	補助熱源機	高さ 750mm×幅 480mm×奥行 240mm
質量	燃料電池ユニット	106kg
	補助熱源機	38kg
メンテナンスサービス	10年間	

### ◆本件に関するお問合せ

日本ガス株式会社 営業企画グループ

販売推進チーム

担当：宮内・小濱 ☎ 099-250-5127 (平日 9時～17時) / ✉ [miyauchi@nihongas.co.jp](mailto:miyauchi@nihongas.co.jp)

以上